

令和 4 年度 授業改善推進プラン

1 本校における課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> 叙述に基づいて正確に読み、叙述を根拠に自分の考えをもつ力が不十分である。 必要な情報を取捨選択する力が不十分である。 言葉の知識や語彙が不足しているため、適切に読み取ったり、自分の考えを表現したりする力が不十分である。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な知識は身に付いているものの、資料を正確に読み取ったり、関連付けて考えたりすることに課題がみられる。 資料をもとに自分の考えたことを文章で記述したり、図表などに表したことを使って説明したりすることが不十分である。(中学年) 資料をもとに自分の考えたことを根拠や理由を明らかにして論理的に、文章で記述したり説明したりすることが不十分である。(高学年)
算数	<ul style="list-style-type: none"> かけ算九九が十分に定着していない。そのため、かけ算の筆算や余りのあるわり算、わり切れるまでわり進むわり算の計算能力が十分ではない。 文章問題を線分図や数直線に表す能力が低い。 立体図形の方向や位置に関する用語や特徴が理解できていない。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 科学的な体験や経験が少ない。 実験の目的を理解し、自分で実験方法を考える力が不十分である。 得られた実験結果を分析して、自分の考えをもつ力が不十分である。

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> 言葉や図表で表された情報を多面的・多角的に読み取る力 読み取ったことと自分の経験や知識と統合させて考える力 考えたことを学んだ表現方法を生かして他者に伝える力 語彙力 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉や図表で表された情報の中で、必要だと思うことにサイドラインを引いたり、表にまとめたりすることで、必要な情報を取捨選択する学習を行う。 読み取る時に、経験したことや既習の知識と関連付けて考える学習を行う。 各単元の学習課題に既習事項が生かせるようなものを設定する。 言葉集めや詩、短歌や俳句の暗唱などを取り入れる。本に親しみ、進んで読書ができるように校内外の図書館と連携する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料から情報を正確に読み取る力 資料をもとに自分の考えを表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> 地図、グラフ、年表など、資料の種類ごとに読み取り方を確認するとともに、読み取る機会を多く設定する。 資料を読み取り、その資料を説明したり、自分の考えをまとめたりする活動を多く取り入れる。(中学年) 資料から分かったことを確認し、根拠や理由を明らかにして記述する活動を多く取り入れる。(高学年)

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算九九を身に付ける。 ・線分図や数直線に表すことに慣れ る。 ・図形に関する知識・技能を身に付 ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・反復練習や暗唱できているかのチェックを繰り返し行い、2年生のうちに十分定着するように指導する。 ・文章問題を提示する際には、線分図や数直線に表すことを習 慣づける。また、それらを使うと立式しやすくなることを意 識させる。 ・用語や性質を繰り返し確認しながら学習を進める。実際に立 体図形を作成して、実物に触ながら位置関係を確認する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的な事象に主体的に取り組む 態度を育てる。 ・観察、実験を行い、問題解決する 力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に触れたり、実際に実験をしたりして、実体験をする機 会を多く作る。 ・観察、実験を行う目的を確認し、何に着目していくか視点を 絞り取り組ませる。 ・実験等から得られた結果を解釈する時間を設け、学年に応じ て自分の言葉で表現する時間をとる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然の特徴やよさ、様子の 変化に気付くとともに、生活上必 要な習慣や技能を身に付ける。 ・活動の中から気付いたこと、考 えたことを表現できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・植物への関心が深まるよう継続的な植物栽培や秋祭りなどの 自然を生かした活動を工夫して行うようにする。 ・植物栽培や地域に関わる活動などを通して気付いたことや楽 しかったことを言葉や絵、劇化、タブレットを活用するなど の多様な方法により表現する場を設ける。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・表したい音楽表現をするために必 要な技能を身に付ける。 ・表現を工夫することや、音楽を味 わって聴くことができるよう にする。 ・音楽を愛好する心情と音楽に対す る感性を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の基礎となる音楽の知識を積み重ねるとともに、興味を もって繰り返し練習できるような魅力ある教材選択を工夫す る。 ・音や楽曲を通じて気付きや思い等を伝え合い共感するなどして、 音や音楽、言葉によるコミュニケーションを図る。 ・学級や学年で協力して音楽をつくる楽しさを体験できる場を 設定する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的に描いたりつくったりして 表現できるようにする。 ・作品などに対する自分の見方や感 じ方を深める。 ・楽しく豊かな生活をつくろうとす る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方を工 夫させる。 ・感じた事や思った事を話し合ったり伝え合ったりして、造形 的なよさを発見させる。また、地域の美術館やアートスペー スを有効に活用する。 ・身近な環境や生活の中で造形活動の楽しさを体験できるよう にする。

家庭	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活をするための工夫や実践的な活動をする力 ・制作や実習を通して技能を身につけ、生活に役立てる力 	<ul style="list-style-type: none"> ・裁縫や調理などの実習に加え、それに向けた準備の際には、活動の意義やきまりを守ることの必要性について考える時間を設ける。 ・ペアやグループで協力して調理や作品作りを行い、片付けまでしっかりと作業をさせる。

体育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで取り組み、運動することの楽しさを味わう ・友達と協力して、ゲームを行い自己の振り返りを行う ・自己の課題に諦めずに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入の中で、自然と体を動かしたくなるような活動を取り入れる。 ・作戦タイム等を設け、友達と協力できるような環境づくりを作る。その際アドバイスの視点を示す。 ・ICT機器の使用で、自分の動きを可視化し、振り返らせる。学習カードで自己評価をさせる。

国際	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年…外国語の基本的な表現を理解する力 ・中学年…自分の考えや気持ちなどを簡単な表現で伝え合う力 ・高学年…伝え合う力に加え、基本的な言語を書く力 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年では、歌やフォニックスを取り入れるとともに、アルファベットの大文字と小文字に十分に慣れ親しむ。 ・中学年では、評価方法を工夫し、伝え合うことに必要な表現の習得のために繰り返し指導する。 ・中・高学年では自分の名前を始め、大文字と小文字が用いられた単語や表現を正しく書き写す指導に十分時間を割く。(適宜、教科担任制を取り入れNTとの連携を図りやすくする。)

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<p>自己を見つめ、これからの生き方について考える力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをしっかりとまとめ ・相手の話を考えながら聞く ・交流を通して自分の考えを深めたり、広めたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自分事として課題を捉え考えることができるよう、教材理解、児童理解を深めていく。 ・授業のなかの中心発問を明確にし、ねらいにせまったくした発問構成を考えていく。 ・教材の読み取りに終始することなく、これまでの自分やこれからの自分を振り返る時間を設ける。

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、課題を解決するために話し合い、合意形成を図り実践していく力 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いのよさや可能性を発揮しながら、集団や自己の生活上の課題を解決することができるよう、学級活動等を通じて指導していく。また、異学年交流や児童会活動を通して、互いの良さを認め合ったり発揮し合ったりできるような場面を設定していく。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、もの、ことに関わる探究的な学習を通して、課題を解決し、共同的に学び、行動しながら自己の生き方を考えることができるようになるための資質・能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事に疑問をもち、課題を見つけ出すために、身近な場面から出発し、教科との関連を踏まえながら、興味関心を高めていく。また、出前授業や、体験的な授業を取り入れる。 ・資料収集や資料精選する際に、学年に応じタブレット端末等の技術を身に付けさせ、適切に情報利用できるように計画的に指導する。